

ご み 排 出 実 態 調 査

報 告 書

平成 2 7 年 3 月

東 京 都 北 区

《 目 次 》

第 1 章 調査概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
(1) 調査内容.....	1
(2) 分析対象物.....	1
(3) 調査地域.....	1
(4) 調査規模.....	2
(5) 調査期間.....	2
(6) 分析場所.....	2
(7) 調査方法.....	3
第 2 章 調査対象地域の選定	5
1 北区における地域特性の解析.....	5
2 調査対象地域及びサンプル数.....	6
第 3 章 調査結果	8
1 調査サンプル数.....	8
2 調査結果.....	9
(1) 排出原単位.....	9
(2) 排出原単位の分布.....	12
(3) 分類項目ごとの排出原単位.....	14
(4) 調査データ（重量）.....	16
第 4 章 資源化可能物等の解析	17
1 可燃ごみの解析.....	17
2 不燃ごみの解析.....	18
第 5 章 厨芥類の組成割合に関する解析	19
1. 調査結果.....	19
2. 可燃ごみの厨芥類組成の解析.....	19
(1) 厨芥類組成.....	19
(2) 世帯人数ごとの厨芥類組成.....	20
(3) クラスタごとの厨芥類組成.....	22
第 6 章 小型家電、その他金属の解析	24

1. 調査結果.....	24
2. 小型家電、その他金属の具体的品目.....	24
(1) 小型家電.....	24
(2) その他金属.....	26

第 1 章 調査概要

1 調査の目的

本調査は、家庭から排出される可燃ごみ及び不燃ごみの排出原単位や組成割合の変化等を調査、解析することにより、「北区一般廃棄物処理基本計画」の策定に向けた基礎データを得ることを目的として実施した。

2 調査の概要

(1) 調査内容

本調査で実施する調査内容は以下の項目である。

- ① 家庭ごみの排出原単位調査
- ② データの集計及び解析

(2) 分析対象物

本調査の分析対象物は、各家庭から集積所へ排出される家庭ごみとし、そのうち可燃ごみ及び不燃ごみとした。

(3) 調査地域

本調査は、以下に示す 4 つの地域で実施した。

表 1-1 調査対象地域

調査対象地域	集積所数	収 集 曜 日	
		可燃ごみ	不燃ごみ
赤羽西 3 丁目	4 ケ所	月、木	第 1・第 3 金
王子 1 丁目	3 ケ所	水、土	第 2・第 4 月
志茂 2 丁目	6 ケ所	火、金	第 1・第 3 水
赤羽台 1 丁目	6 ケ所	月、木	第 1・第 3 金

(4) 調査規模

本調査は、可燃ごみ 100 世帯、不燃ごみ 100 世帯とした。

(5) 調査期間

調査は以下に示す日程で実施した。

表 1-2 調査日程

調 査 日	調 査 項 目	
平成 26 年 7 月 2 日 (水)	可燃ごみ	王子 1 丁目
	不燃ごみ	志茂 2 丁目
平成 26 年 7 月 4 日 (金)	可燃ごみ	志茂 2 丁目
	不燃ごみ	赤羽西 3 丁目、 赤羽台 1 丁目
平成 26 年 7 月 7 日 (月)	可燃ごみ	赤羽西 3 丁目、 赤羽台 1 丁目
平成 26 年 7 月 14 日 (月)	不燃ごみ	王子 1 丁目
平成 26 年 7 月 16 日 (水)	不燃ごみ	志茂 2 丁目

(6) 分析場所

分析場所として、北清掃工場プラットホーム（下図枠線部分）および北清掃事務所の駐車場にて実施した。



(7) 調査方法

① 集積所ヒアリング調査

調査対象集積所に調査員が待機し、ごみを排出してきた世帯人に対して調査実施の旨を説明した。その後、調査協力を得られた世帯人に対し、①世帯人数、②ごみの蓄積日数の2項目のみヒアリング調査を実施した。なお得られたサンプルにはロット番号をふり、集積所のわきに置いて確保した。

② 排出原単位調査

必要量が確保出来た後、サンプルを回収し、分析場所（北清掃工場または北区清掃事務所）へ搬入した。搬入後、サンプルをビニールシートの上に一時保管し、ロット番号ごとに表1-3に示す重量を測定した。

③ ごみの廃棄

調査終了後のごみは、可燃ごみは北清掃工場にてごみピットへ投入し、不燃ごみは堀船清掃作業所へ搬入した。

④ データの集計・解析

得られた調査データを集計し、平成26年度北区家庭ごみ排出原単位を解析した。別途、厨芥類をさらに細分類(4区分)と、小型家電ならびにその他金属の種類と重量を解析した。

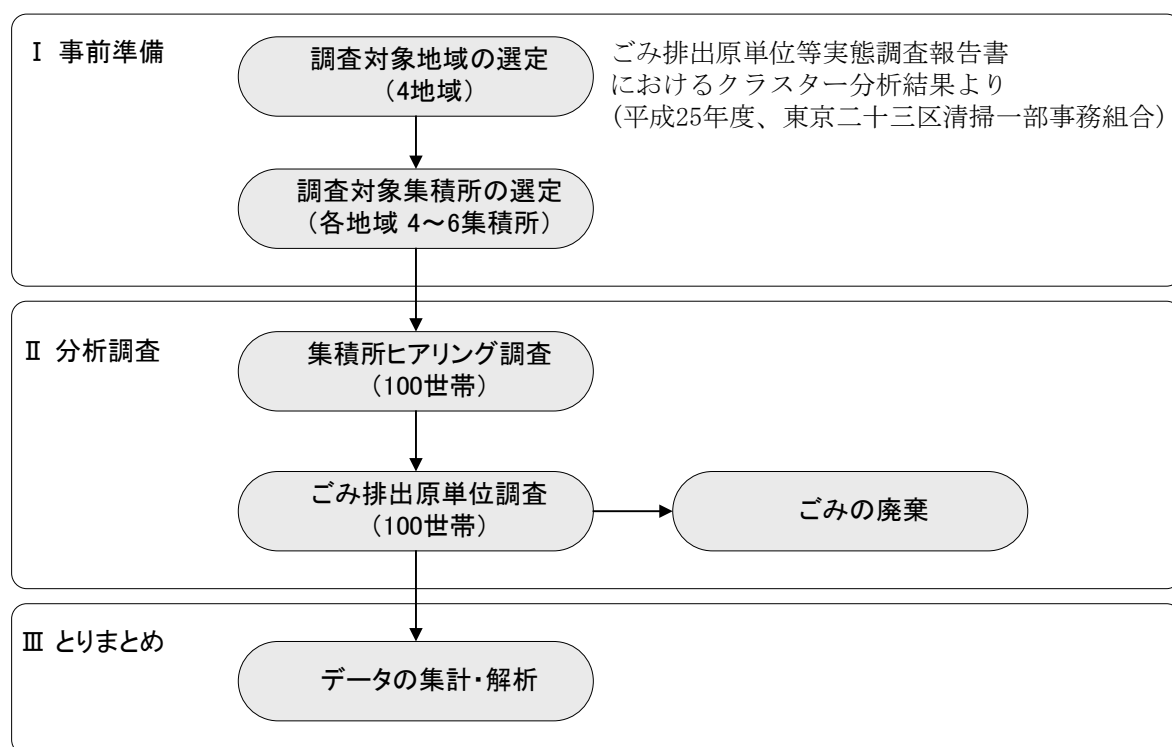


図1-1 調査フロー

表 1-3 分析調査項目

種別	分 類 項 目			No.	代 表 品 目
	大分類	中分類	細分類		
可 燃 物	厨芥類		調理くず	1	
			未利用食品	2	未開封食品
			食べ残し	3	
			その他	4	
			紙類	容器包装	段ボール
	資源紙パック	6	牛乳、ジュース等の紙パック（内側に銀紙が貼っていないもの）		
	その他紙容器(リサイクル可)(雑がみ含む)	7	菓子箱、ボール箱		
	その他紙容器（リサイクル不可）	8	アルミ蒸着紙パック		
	その他紙包装	9	紙袋、包装紙		
		容器包装 以外	新聞紙・ちらし	10	
			雑誌・書籍	11	週刊誌、月刊誌、書籍、パンフレット、ノート、カタログ
			OA用紙	12	コピー用紙、図面
			その他紙類(リサイクル可)(雑がみ含む)	13	ダイレクトメール、はがき、封筒(窓無)、トイレットペーパーの芯等リサイクル可能紙類
			その他紙類（リサイクル不可）	14	ティッシュペーパー、ビニールコート紙、封筒(窓付)、写真、感熱紙等リサイクル不適紙類
	草木類			15	剪定枝、木箱、割り箸、麻ひも、コルク
	繊維類			16	衣類、毛布、布きれ
	紙おむつ類			17	紙おむつ、生理用品
	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	18	飲料・酒、醤油等のペットボトル
			その他のボトル	19	ブロー成型品（中空のもの）
			チューブ類	20	マヨネーズ、歯磨き粉の容器
			資源発泡トレイ	21	発泡系トレイ（白色のみ）
			その他の発泡トレイ	22	発泡系トレイ（色・柄付き）
			その他プラ容器	23	カップ、卵パック、惣菜の容器、ペットボトルのふた
			その他プラ包装	24	ラップ、フィルム、袋
			レジ袋（ごみとして出された袋）	25	コンビニの袋
		容器包装 以外	その他	26	おもちゃ、CDケース、歯ブラシ、プランター
	ゴム・皮革類			27	かばん、くつ、ベルト
	その他可燃物			28	猫砂、たばこの吸殻
不 燃 物	陶磁器・石類			29	
	金属類	容器包装	アルミ缶	30	飲料缶、食料缶
			スチール缶	31	飲料缶、食料缶
			その他容器類	32	容器のふた、スプレー缶、塗料缶、一斗缶
		容器包装 以外	その他金属(リサイクル可)	33	なべ、やかん、ハンガー、アルミ箱
			その他金属(リサイクル不可)	34	はさみや包丁などの刃物類、アルミ缶
			小型家電	35	小型家電
				36	
	びん・ガラス	容器包装	生きびん	36	ビール瓶、一升瓶
			無色雑びん	37	
			茶色雑びん	38	
			その他色雑びん	39	
			資源回収不適な雑びん	40	薬品、化粧品のびん
	容器包装以外			41	板ガラス、ガラスコップ、耐熱ガラス
	土砂・残土・灰			42	
	蛍光灯			43	
	乾電池・マンガン電池・ボタン電池			44	
	体温計（電子体温計を除く）・温度計			45	
	その他不燃物			46	携帯カイロ、保冷剤
	外袋	ごみ袋	容器包装	レジ袋	47
容器包装 以外			プラスチック袋	48	23区推奨、透明や半透明のごみ袋

第2章 調査対象地域の選定

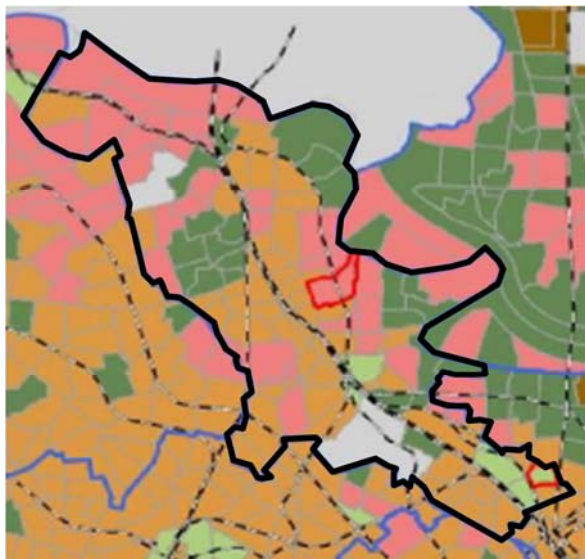
1 北区における地域特性の解析

北区ごみ排出実態調査における調査対象地域を以下のように選定した。

調査対象地域を選定するにあたり、平成25年度に東京二十三区清掃一部事務組合により実施された「ごみ排出原単位等実態調査」の人口データ等を元に分析されたクラスター分析結果を使用した。

以下に町丁目ごとに分類された図を示す。本分析結果より、北区は以下の4地域に分類される。

- | | |
|-------------|---|
| クラスター①（緑色） | 2-5人世帯が多く、戸建、持ち家世帯が多い、23区の東部、西部に多く分布する。 |
| クラスター②（黄緑色） | 単身、または5人の間借り世帯が多い。中心部に多く分布する。 |
| クラスター③（燈色） | 人口密度が高く、共同住宅、民間の借家世帯が多い。 |
| クラスター④（桃色） | 11階以上の超高層公営借家が多い。 |



凡例

- 2-5人世帯が多く、戸建、持ち家世帯が多い、23区の東部、西部に多く分布する
- 単身、または6人の間借り世帯が多い、中心部に多く分布する
- 単身世帯が多い
- 2-5人世帯が多く、戸建、持ち家世帯が多く、単身、または6人の間借り世帯が多い
- 人口密度が高く、共同住宅、民間の借家世帯が多い
- 11階以上の超高層公営借家が多い
- 人口密度が低くあまり人が住んでいない地域

2 調査対象地域及びサンプル数

平成 22 年国勢調査結果からのクラスターごとの世帯数を表 2-1 に示す。世帯数のばらつきにより調査サンプル数を調整し、表 2-1 に示すサンプル数にて調査を実施することとした。

また、各クラスターに含まれる町丁目に関し、町丁目の中で収集曜日が異なる地域、事業所等の建物が多い地域、各戸収集等の特殊地域を除外した、比較的世帯数の多い地域から選定した調査対象候補を表 2-2 及び図 2-1 に示す。

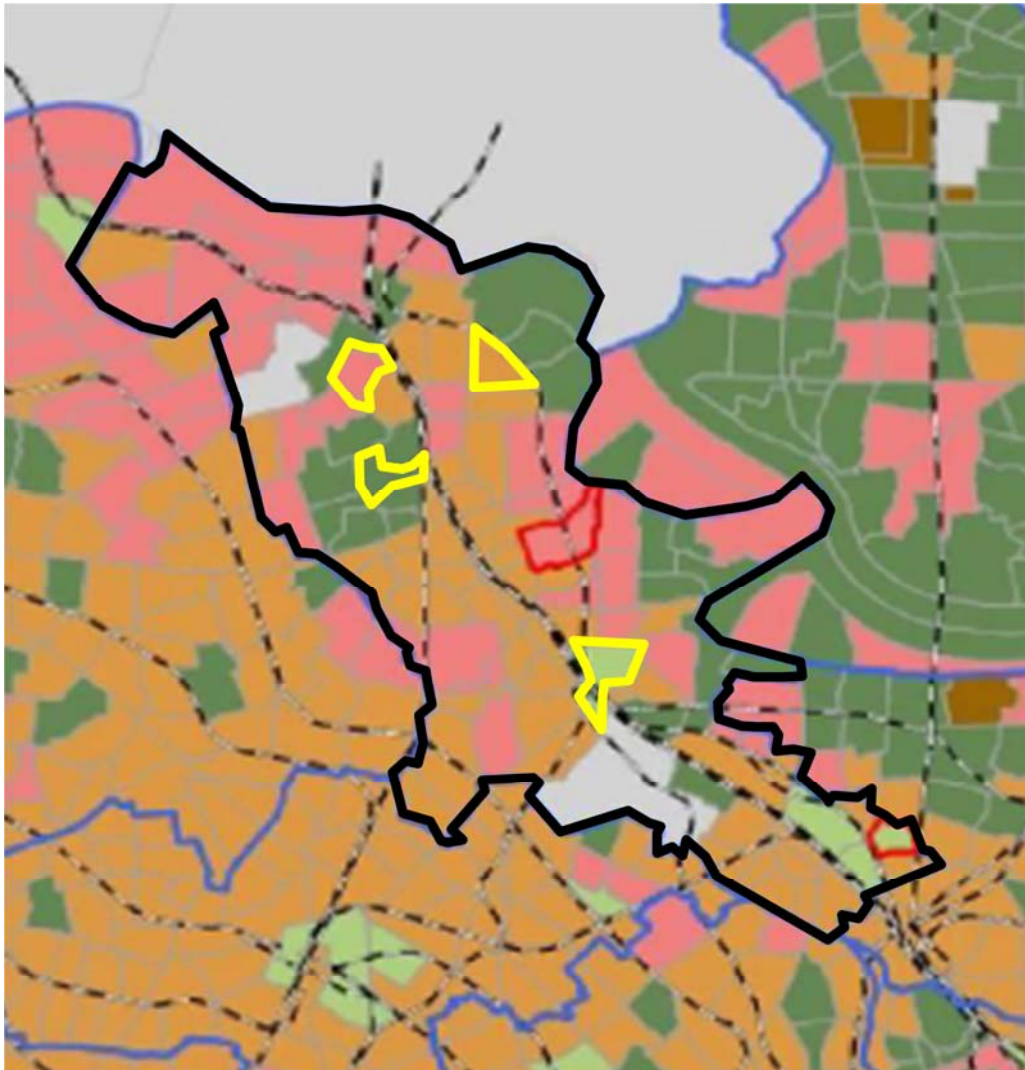
表 2-1 クラスターごとの調査サンプル数

	世帯数		調査サンプル数
クラスター①	30,408	19%	20
クラスター②	4,577	3%	10
クラスター③	78,124	48%	40
クラスター④	47,654	30%	30
計	160,763	100%	100

出典：平成 22 年国勢調査

表 2-2 クラスターごとの調査対象町丁目

	調査対象町丁目	集積所数	サンプル数 (可燃, 不燃)	特 徴
クラスター①	赤羽西3丁目	4ヶ所	各20	2-5人世帯が多く、戸建、持ち家世帯が多い、23区の東部、西部に多く分布する。
クラスター②	王子1丁目	3ヶ所	各10	単身、または5人の間借り世帯が多い。中心部に多く分布する。
クラスター③	志茂2丁目	6ヶ所	各40	人口密度が高く、共同住宅、民間の借家世帯が多い。
クラスター④	赤羽台1丁目	6ヶ所	各30	11階以上の超高層公営借家が多い。



※図中の黄色枠線部分が調査対象町丁目

図 2-1 調査対象地域

第3章 調査結果

1 調査サンプル数

有効な調査サンプル数を表3-1に示す。可燃ごみ111世帯、不燃ごみ102世帯にて集計・解析を実施した。

表3-1 調査サンプル数

単位：件

	クラスター①	クラスター②	クラスター③	クラスター④	合計
可燃ごみ	21	17	42	31	111
不燃ごみ	32	16	43	11	102
目標	20	10	40	30	100

2 調査結果

(1) 排出原単位

① 全体での排出原単位

本調査にて分析した可燃ごみ及び不燃ごみの排出原単位結果、区収集資源の実績からの排出原単位を表 3-2 に示す。

可燃ごみは、265.1g/人日、不燃ごみは 20.5g/人日で、資源を除くごみの合計は、285.6g/人日であった。また、北区の平成 25 年度の区収集資源の実績は、104.3g/人日であり、資源を含む家庭ごみの排出原単位は、389.9g/人日と推測できる。

表 3-2 排出原単位

単位：g/人日

	本調査結果	参 考 (※2)	
		北区（平成20年度）	23区（平成25年度）
可燃ごみ	265.1	296.4	402.9
不燃ごみ	20.5	50.0	63.6
ごみ 計	285.6	346.4	466.5
資源（区収集）	(※1) 104.3	126.7	229.5
合計	389.9	473.1	696.0

注) ※1：資源（区収集）は、H25 実績 12,746 t/年を人口 334,723 人(平成 26 年 1 月 1 日、外国人含む)で除した値である。

※2：「ごみ排出実態調査報告書（平成 20 年度 東京都北区）」および「ごみ排出原単位等実態調査報告書（平成 25 年度 東京二十三区清掃一部事務組合）」より。

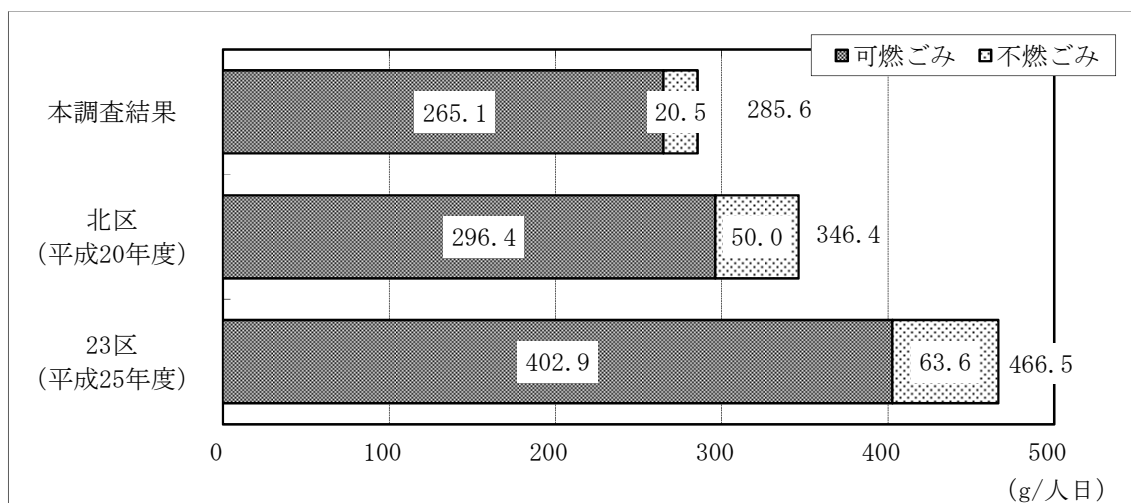


図 3-1 排出原単位

② 世帯人数ごとの排出原単位

本調査にて分析した可燃ごみ及び不燃ごみの排出原単位について、調査件数を表 3-3 に、世帯人数ごとの排出原単位を表 3-4 及び図 3-2 に示す。

表 3-3 世帯人数ごとの調査件数

単位：件

	1人	2人以上	2人	3人	4人以上	合計
可燃ごみ	34	77	32	26	19	111
不燃ごみ	14	88	43	23	22	102

表 3-4 世帯人数ごとの排出原単位

単位：g/人日

	1人	2人以上	2人	3人	4人以上	平均
可燃ごみ	286.4	261.4	255.3	275.7	251.0	265.1
不燃ごみ	33.1	19.8	24.4	22.3	13.3	20.5
計	319.5	281.2	279.7	298.0	264.3	285.6

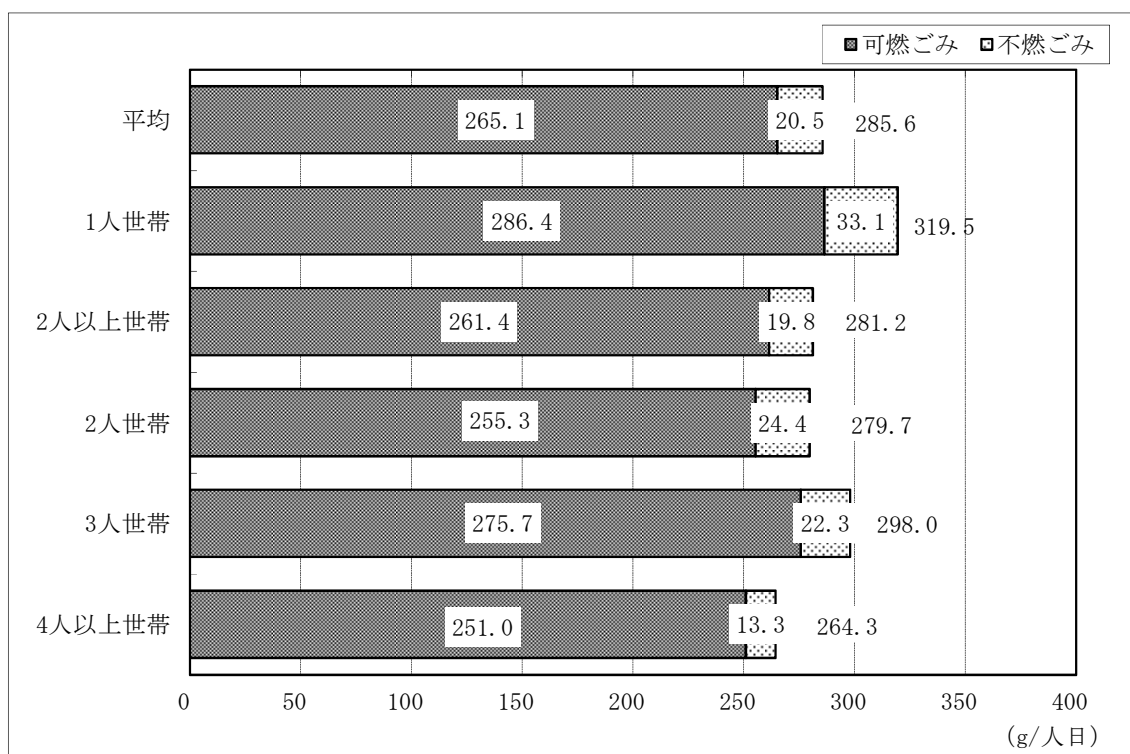


図 3-2 世帯人数ごとの排出原単位

③ クラスターごとの排出原単位

本調査にて分析した可燃ごみ及び不燃ごみの排出原単位について、クラスターごとの排出原単位を表 3-6 及び図 3-3 に示す。各クラスターの特徴は「第 2 章 1」参照。

表 3-5 クラスターごとの調査件数

単位：件					
	クラスター①	クラスター②	クラスター③	クラスター④	合計
可燃ごみ	21	17	42	31	111
不燃ごみ	32	16	43	11	102

表 3-6 クラスターごとの排出原単位

単位：g/人日					
	クラスター①	クラスター②	クラスター③	クラスター④	平均
可燃ごみ	316.0	306.5	277.0	184.0	265.1
不燃ごみ	21.0	32.6	20.6	7.6	20.5
計	337.0	339.1	297.6	191.6	285.6

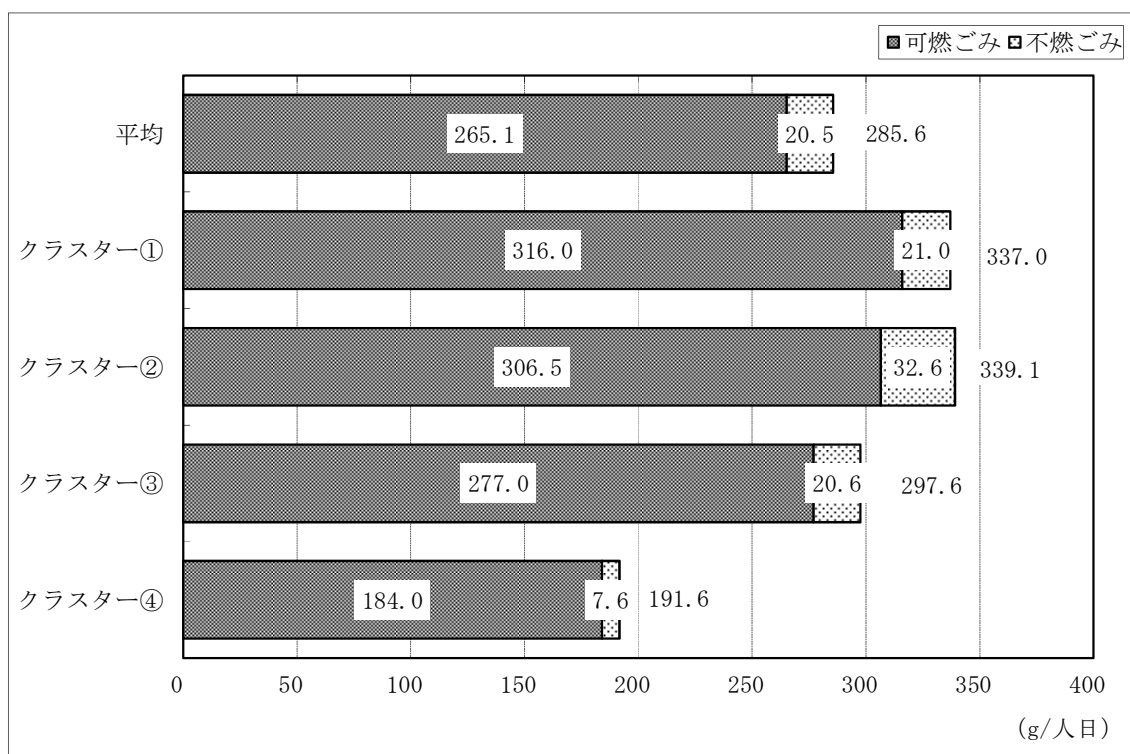


図 3-3 クラスターごとの排出原単位

(2) 排出原単位の分布

排出原単位の分布について、可燃ごみを表3-7及び図3-4に、不燃ごみを表3-8及び図3-5に示す。

表3-7 排出原単位の分布（可燃ごみ）

原単位 (g/人日)	件数 (件)	割合	累計件数 (件)	累計割合
0 ～ 50	7	6.3%	7	6.3%
50 ～ 100	13	11.7%	20	18.0%
100 ～ 150	14	12.6%	34	30.6%
150 ～ 200	8	7.2%	42	37.8%
200 ～ 250	20	18.0%	62	55.9%
250 ～ 300	7	6.3%	69	62.2%
300 ～ 350	9	8.1%	78	70.3%
350 ～ 400	9	8.1%	87	78.4%
400 ～ 450	6	5.4%	93	83.8%
450 ～ 500	2	1.8%	95	85.6%
500 ～ 550	4	3.6%	99	89.2%
550 ～ 600	2	1.8%	101	91.0%
600 ～ 650	0	0.0%	101	91.0%
650 ～ 700	2	1.8%	103	92.8%
700 ～ 750	1	0.9%	104	93.7%
750 ～ 800	2	1.8%	106	95.5%
800 ～ 850	4	3.6%	110	99.1%
850 ～ 900	1	0.9%	111	100.0%
900 ～ 950	0	0.0%	111	100.0%
950 以上	0	0.0%	111	100.0%

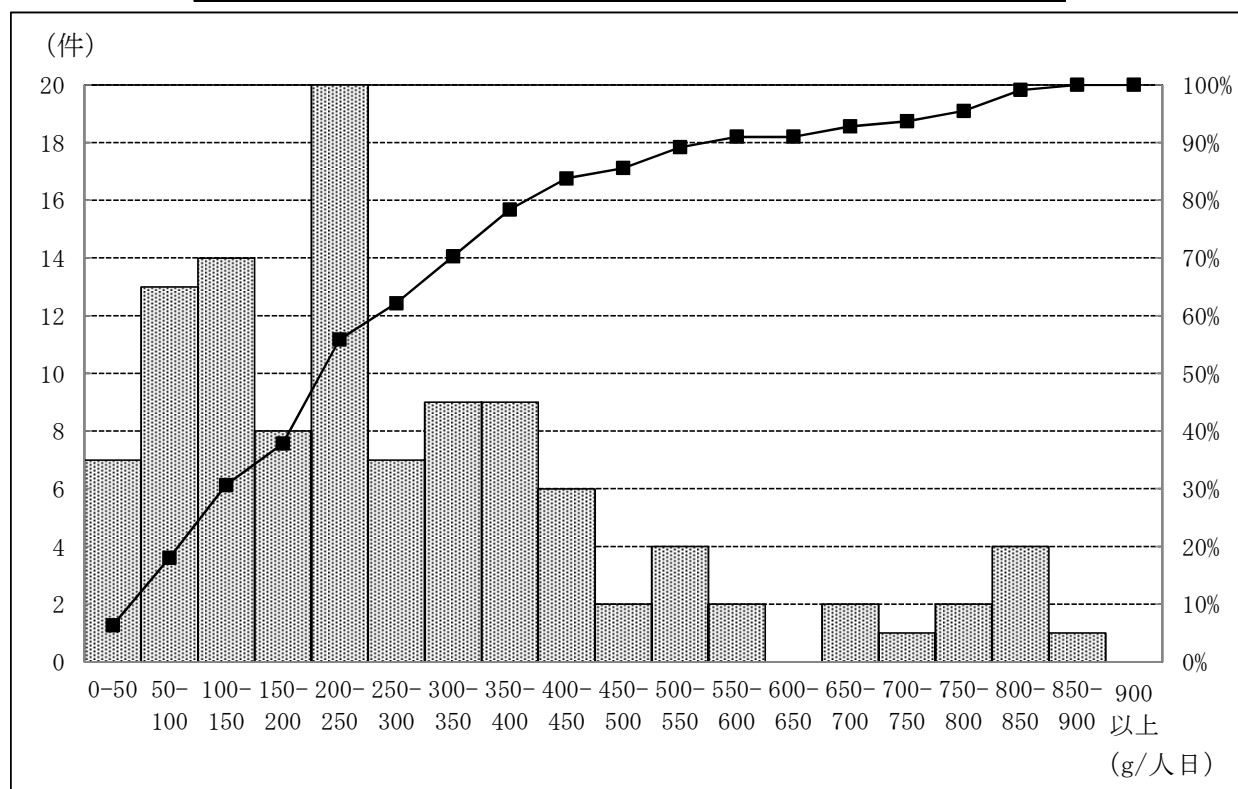


図3-4 排出原単位の分布（可燃ごみ）

表 3-8 排出原単位の分布（不燃ごみ）

原単位 (g/人日)	件数 (件)	割合	累計件数 (件)	累計割合
0 ～ 10	29	28.4%	29	28.4%
10 ～ 20	29	28.4%	58	56.9%
20 ～ 30	16	15.7%	74	72.5%
30 ～ 40	8	7.8%	82	80.4%
40 ～ 50	7	6.9%	89	87.3%
50 ～ 60	3	2.9%	92	90.2%
60 ～ 70	4	3.9%	96	94.1%
70 ～ 80	3	2.9%	99	97.1%
80 ～ 90	1	1.0%	100	98.0%
90 ～ 100	2	2.0%	102	100.0%

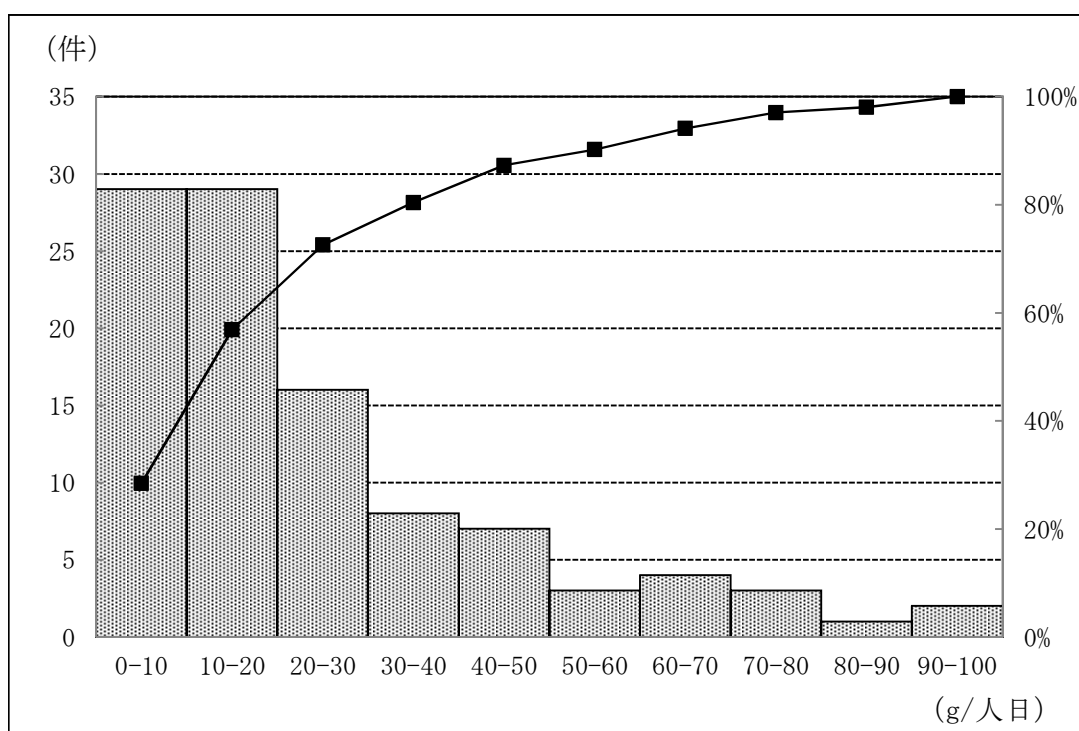


図 3-5 排出原単位の分布（不燃ごみ）

(3) 分類項目ごとの排出原単位

① 大分類における排出原単位

大分類項目における排出原単位を表3-9及び図3-6に示す。

表3-9 排出原単位（大分類）

種別	分類項目 大分類	可燃ごみ		不燃ごみ	
		原単位(g/人日)	割合	原単位(g/人日)	割合
可燃物	厨芥類	94.0	35.5%	0.2	1.1%
	紙類	67.2	25.3%	0.1	0.6%
	草木類	14.4	5.4%	0.2	0.8%
	繊維類	18.8	7.1%	0.0	0.0%
	紙おむつ類	10.2	3.8%	0.0	0.0%
	プラスチック類	40.7	15.4%	1.5	7.4%
	ゴム・皮革類	5.1	1.9%	0.0	0.2%
	その他可燃物	5.5	2.1%	0.0	0.2%
不燃物	陶磁器・石類	0.0	0.0%	4.7	23.0%
	金属類	1.3	0.5%	6.0	29.1%
	びん・ガラス	0.1	0.0%	4.7	23.0%
	土砂・残土・灰	0.0	0.0%	0.1	0.3%
	蛍光管	0.0	0.0%	0.3	1.7%
	乾電池・マンガン電池・ボタン電池	0.2	0.1%	0.5	2.3%
	体温計(電子体温計を除く)・温度計	0.0	0.0%	0.0	0.0%
	その他不燃物	5.4	2.1%	2.0	9.2%
外袋	ごみ袋	2.2	0.8%	0.2	1.1%
合計		265.1	100.0%	20.5	100.0%

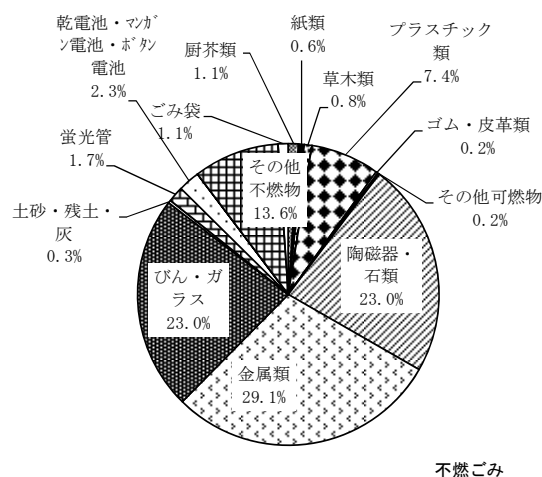
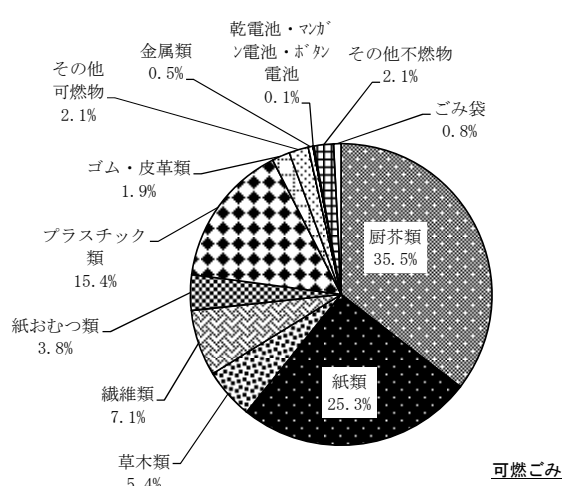


図3-6 排出原単位（大分類）

② 細分類における排出原単位

細分類における可燃ごみと不燃ごみの排出原単位を表3-10に示す。

表3-10 細項目の排出原単位

種別	分 類 項 目			可燃ごみ		不燃ごみ	
	大分類	中分類	細分類	原単位 (g/人日)	割合	原単位 (g/人日)	割合
可 燃 物	厨芥類	調理くず		80.17	30.24%	0.06	0.29%
		未利用食品		8.62	3.25%	0.06	0.29%
		食べ残し		5.23	1.97%	0.11	0.54%
		その他		0	0.00%	0	0.00%
	紙類	容器包装	段ボール	2.73	1.03%	0.02	0.10%
			資源紙パック	2.01	0.76%	0	0.00%
			その他紙容器 (リサイクル可) (雑がみ含む)	9.24	3.49%	0.01	0.05%
			その他紙容器 (リサイクル不可)	4.59	1.73%	0	0.00%
			その他紙包装	3.44	1.30%	0.01	0.05%
		容器包装以外	新聞紙・ちらし	9.91	3.74%	0.05	0.24%
			雑誌・書籍	4.69	1.77%	0.01	0.05%
			OA用紙	2.68	1.01%	0	0.00%
			その他紙類 (リサイクル可)	8.2	3.09%	0.01	0.05%
			その他紙類 (リサイクル不可)	19.69	7.43%	0.03	0.15%
	草木類			14.4	5.43%	0.16	0.78%
	繊維類			18.78	7.08%	0	0.00%
	紙おむつ類			10.16	3.83%	0	0.00%
	プラス チック類	容器包装	ペットボトル	0.73	0.28%	0.17	0.83%
			その他のボトル	2.68	1.01%	0.41	2.00%
			チューブ類	0.77	0.29%	0.01	0.05%
			資源発泡トレイ	0.47	0.18%	0	0.00%
			その他の発泡トレイ	0.42	0.16%	0	0.00%
			その他プラ容器	11.27	4.25%	0.06	0.29%
			その他プラ包装	14.56	5.49%	0.11	0.54%
			ビ ^g 袋(ごみとして出された袋)	3.43	1.29%	0.06	0.29%
		容器包装以外	その他	6.39	2.41%	0.7	3.41%
	ゴム・皮革類			5.11	1.93%	0.04	0.20%
	その他可燃物			5.49	2.07%	0.04	0.20%
不 燃 物	陶磁器・石類			0.02	0.01%	4.63	22.74%
	金属類	容器包装	アルミ缶	0.02	0.01%	0.12	0.59%
			スチール缶	0.11	0.04%	0.34	1.66%
			その他容器類	0.13	0.05%	1.2	5.85%
		容器包装以外	その他金属 (リサイクル可)	0.18	0.07%	2.34	11.42%
			その他金属 (リサイクル不可)	0.29	0.11%	0.35	1.71%
			小型家電	0.56	0.21%	1.62	7.90%
	びん・ ガラス	容器包装	生きびん	0	0.00%	0	0.00%
			無色雑びん	0	0.00%	1.65	8.05%
			茶色雑びん	0.06	0.02%	0.63	3.07%
			その他色雑びん	0	0.00%	0.18	0.88%
			資源回収不適な雑びん	0.02	0.01%	0.82	4.00%
		容器包装以外	0	0.00%	1.45	7.07%	
	土砂・残土・灰			0	0.00%	0.06	0.29%
	蛍光管			0.02	0.01%	0.35	1.71%
	乾電池・マンガン電池・ボタン電池			0.17	0.06%	0.46	2.24%
	体温計 (電子体温計を除く)・温度計			0	0.00%	0	0.00%
	その他不燃物			5.47	2.06%	1.89	9.24%
外 袋	ごみ袋	容器包装	レジ袋	0.92	0.35%	0.2	0.98%
	容器包装以外	プラスチック袋	1.25	0.47%	0.04	0.20%	
合 計				265.1	100.0%	20.5	100.0%
合計人日				1,025人日		5,047人日	

(4) 調査データ (重量)

調査により得られた重量データを表3-11に示す。

表3-11 調査データ (重量)

種別	分類項目			可燃ごみ		不燃ごみ		
	大分類	中分類	細分類	排出量(g)	割合	排出量(g)	割合	
可燃物	厨芥類	調理くず		82,170	30.2%	300	0.3%	
		未利用食品		8,840	3.3%	320	0.3%	
		食べ残し		5,360	2.0%	540	0.5%	
		その他		0	0.0%	0	0.0%	
	紙類	容器包装	段ボール	2,800	1.0%	90	0.1%	
			資源紙パック	2,060	0.8%	0	0.0%	
			その他紙容器(リサイクル可)(雑がみ含む)	9,470	3.5%	40	0.0%	
			その他紙容器(リサイクル不可)	4,700	1.7%	10	0.0%	
			その他紙包装	3,530	1.3%	60	0.1%	
		容器包装以外	新聞紙・ちらし	10,160	3.7%	250	0.2%	
			雑誌・書籍	4,810	1.8%	30	0.0%	
			OA用紙	2,750	1.0%	20	0.0%	
			その他紙類(リサイクル可)(雑がみ含む)	8,410	3.1%	30	0.0%	
			その他紙類(リサイクル不可)	20,180	7.4%	130	0.1%	
	草木類			14,760	5.4%	830	0.8%	
	繊維類			19,250	7.1%	0	0.0%	
	紙おむつ類			10,410	3.8%	0	0.0%	
	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	750	0.3%	850	0.8%	
			その他のボトル	2,750	1.0%	2,060	2.0%	
			チューブ類	790	0.3%	50	0.0%	
			資源発泡トレイ	480	0.2%	0	0.0%	
			その他の発泡トレイ	430	0.2%	0	0.0%	
			その他プラ容器	11,550	4.3%	300	0.3%	
			その他プラ包装	14,920	5.5%	530	0.5%	
			レジ袋(ごみとして出された袋)	3,520	1.3%	320	0.3%	
		容器包装以外	その他	6,550	2.4%	3,510	3.4%	
		ゴム・皮革類			5,240	1.9%	190	0.2%
	その他可燃物			5,630	2.1%	220	0.2%	
不燃物	陶磁器・石類			20	0.0%	23,870	23.0%	
	金属類	容器包装	アルミ缶	20	0.0%	620	0.6%	
			スチール缶	110	0.0%	1,710	1.7%	
			その他容器類	130	0.0%	6,040	5.8%	
		容器包装以外	その他金属(リサイクル可)	180	0.1%	11,810	11.4%	
			その他金属(リサイクル不可)	300	0.1%	1,760	1.7%	
			小型家電	570	0.2%	8,180	7.9%	
	びん・ガラス	容器包装	生きびん	0	0.0%	0	0.0%	
			無色雑びん	0	0.0%	8,310	8.0%	
			茶色雑びん	60	0.0%	3,180	3.1%	
			その他色雑びん	0	0.0%	910	0.9%	
			資源回収不適な雑びん	20	0.0%	4,120	4.0%	
		容器包装以外		0	0.0%	7,320	7.1%	
	土砂・残土・灰			0	0.0%	300	0.3%	
	蛍光管			20	0.0%	1,760	1.7%	
	乾電池・マンガン電池・ボタン電池			170	0.1%	2,340	2.3%	
	体温計(電子体温計を除く)・温度計			0	0.0%	0	0.0%	
	その他不燃物			5,610	2.1%	9,530	9.2%	
	外袋	ごみ袋	容器包装	レジ袋	940	0.3%	990	1.0%
			容器包装以外	プラスチック袋	1,280	0.5%	190	0.2%
	合計				271,700	100.0%	103,620	100.0%

第4章 資源化可能物等の解析

1 可燃ごみの解析

本調査結果より、可燃ごみにおける資源化可能物の割合及び分別の不適正率を解析した。
資源化が可能なものは17.16%、分別の不適正率は19.47%であった。

表4-1 資源化可能物及び分別不適正の割合（可燃ごみ中）

種別	分 類 項 目			組成 割合	資源化 可能率	分別不 適正率	資源化 可：○
	大分類	中分類	細分類				
可 燃 物	厨芥類	調理くず		30.24%			
		未利用食品		3.25%			
		食べ残し		1.97%			
		その他		—			
	紙類	容器包装	段ボール	1.03%	1.03%	1.03%	○
			資源紙バック	0.76%	0.76%	0.76%	○
			その他紙容器（※リサイクル可）（雑がみ含む）	3.49%	3.49%	3.49%	○
			その他紙容器（リサイクル不可）	1.73%			
			その他紙包装	1.30%	1.30%	1.30%	○
		容器包装以外	新聞紙・ちらし	3.74%	3.74%	3.74%	○
			雑誌・書籍	1.77%	1.77%	1.77%	○
			OA用紙	1.01%	1.01%	1.01%	○
			その他紙類（※リサイクル可）（雑がみ含む）	3.09%	3.09%	3.09%	○
			その他紙類（リサイクル不可）	7.43%			
	草木類		5.43%				
	繊維類		7.08%				
	紙おむつ類		3.83%				
	プラス チック類	容器包装	ペットボトル	0.28%	0.28%	0.28%	○
			その他のボトル	1.01%			
			チューブ類	0.29%			
			資源発泡トレイ	0.18%	0.18%	0.18%	○
			その他の発泡トレイ	0.16%	0.16%	0.16%	○
			その他ブラ容器	4.25%			
その他ブラ包装			5.49%				
レジ袋（ごみとして出された袋）			1.29%				
容器包装以外		その他	2.41%				
ゴム・皮革類		1.93%					
その他可燃物		2.07%					
不 燃 物	陶磁器・石類		0.01%		0.01%		
	金属類	容器包装	アルミ缶	0.01%	0.01%	0.01%	○
			スチール缶	0.04%	0.04%	0.04%	○
			その他容器類	0.05%		0.05%	
		容器包装以外	その他金属（リサイクル可）	0.07%	0.07%	0.07%	○
			その他金属（リサイクル不可）	0.11%		0.11%	
			小型家電	0.21%	0.21%	0.21%	○
	びん・ ガラス	容器包装	生きびん	—			○
			無色雑びん	—			○
			茶色雑びん	0.02%	0.02%	0.02%	○
			その他色雑びん	0.00%	0.00%	0.00%	○
			資源回収不適な雑びん	0.01%		0.01%	
		容器包装以外	—				
	土砂・残土・灰		—				
	蛍光管		0.01%		0.01%		
	乾電池・マンガン電池・ボタン電池		0.06%		0.06%		
	体温計（電子体温計を除く）・温度計		—				
その他不燃物		2.06%		2.06%			
外 袋	ごみ袋	容器包装	レジ袋	0.35%			
		容器包装以外	プラスチック袋	0.47%			
合 計				100.00%	17.16%	19.47%	

2 不燃ごみの解析

本調査結果より、不燃ごみにおける資源化可能物の割合及び分別の不適正率を解析した。

資源化が可能なものは 34.94%、分別の不適正率は 43.97%であった。

表 4-2 資源化可能物及び分別不適正の割合（不燃ごみ中）

種別	分 類 項 目			組成 割合	資源化 可能率	分別不 適正率	資源化 可：○
	大分類	中分類	細分類				
可 燃 物	厨芥類	調理くず		0.29%		0.29%	
		未利用食品		0.29%		0.29%	
		食べ残し		0.54%		0.54%	
		その他		—			
	紙類	容器包装	段ボール	0.10%	0.10%	0.10%	○
			資源紙パック	—			○
			その他紙容器（リサイクル可）（雑がみ含む）	0.05%	0.05%	0.05%	○
			その他紙容器（リサイクル不可）	—			
			その他紙包装	0.05%	0.05%	0.05%	○
		容器包装以外	新聞紙・ちらし	0.24%	0.24%	0.24%	○
			雑誌・書籍	0.05%	0.05%	0.05%	○
			OA用紙	—			○
			その他紙類（リサイクル可）（雑がみ含む）	0.05%	0.05%	0.05%	○
			その他紙類（リサイクル不可）	0.15%		0.15%	
	草木類			0.78%		0.78%	
	繊維類			—			
	紙おむつ類			—			
	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	0.83%	0.83%	0.83%	○
			その他のボトル	2.00%		2.00%	
			チューブ類	0.05%		0.05%	
			資源発泡トレイ	—			○
			その他の発泡トレイ	—			○
			その他プラ容器	0.29%		0.29%	
			その他プラ包装	0.54%		0.54%	
			レジ袋（ごみとして出された袋）	0.29%		0.29%	
		容器包装以外	その他	3.41%		3.41%	
		ゴム・皮革類			0.20%		0.20%
	その他可燃物			0.20%		0.20%	
不 燃 物	陶磁器・石類			22.74%			
	金属類	容器包装	アルミ缶	0.59%	0.59%	0.59%	○
			スチール缶	1.66%	1.66%	1.66%	○
			その他容器類	5.85%			
		容器包装以外	その他金属（リサイクル可）	11.42%	11.42%	11.42%	○
			その他金属（リサイクル不可）	1.71%			
			小型家電	7.90%	7.90%	7.90%	○
	びん・ガラス	容器包装	生きびん	—			○
			無色雑びん	8.05%	8.05%	8.05%	○
			茶色雑びん	3.07%	3.07%	3.07%	○
			その他色雑びん	0.88%	0.88%	0.88%	○
			資源回収不適な雑びん	4.00%			
		容器包装以外		7.07%			
	土砂・残土・灰			0.29%			
	蛍光管			1.71%			
	乾電池・マンガン電池・ボタン電池			2.24%			
	体温計（電子体温計を除く）・温度計			—			
	その他不燃物			9.24%			
外 袋	ごみ袋	容器包装	レジ袋	0.98%			
		容器包装以外	プラスチック袋	0.20%			
合 計				100.00%	34.94%	43.97%	

第5章 厨芥類の組成割合に関する解析

1. 調査結果

本調査における調査結果（大項目）を表5-1に示す。可燃ごみとして排出された厨芥類は可燃ごみ合計排出量の35.5%で、不燃ごみとして排出量された厨芥類は不燃ごみ合計排出量の1.1%であった。

不燃ごみとして排出された厨芥類は、厨芥類の合計排出量の1.2%程度であることから、可燃ごみとして排出された厨芥類のみを対象に厨芥類組成割合に関する解析を行う。

なお、不燃ごみから排出された厨芥類では、ドレッシングのびん等で食べ残しや未利用食品として排出されたものなどがあつた。

表5-1 調査結果（大項目）

種別	分類項目	可燃ごみ		不燃ごみ	
	大分類	排出量(g)	原単位(g/人日)	割合	割合
可燃物	厨芥類	96,370	94.0	35.5%	1.1%
	紙類	68,870	67.2	25.3%	0.6%
	草木類	14,760	14.4	5.4%	0.8%
	繊維類	19,250	18.8	7.1%	0.0%
	紙おむつ類	10,410	10.2	3.8%	0.0%
	プラスチック類	41,740	40.7	15.4%	7.4%
	ゴム・皮革類	5,240	5.1	1.9%	0.2%
	その他可燃物	5,630	5.5	2.1%	0.2%
不燃物	陶磁器・石類	20	0.0	0.0%	23.0%
	金属類	1,310	1.3	0.5%	29.1%
	びん・ガラス	80	0.1	0.0%	23.0%
	土砂・残土・灰	0	0.0	0.0%	0.3%
	蛍光管	20	0.0	0.0%	1.7%
	乾電池・マンガン電池・ボタン電池	170	0.2	0.1%	2.3%
	体温計(電子体温計を除く)・温度計	0	0.0	0.0%	0.0%
	その他不燃物	5,610	5.4	2.1%	9.2%
外袋	ごみ袋	2,220	2.2	0.8%	1.1%
合計		271,700	265.1	100.0%	100.0%

2. 可燃ごみの厨芥類組成の解析

(1) 厨芥類組成

調査結果（厨芥類）を表5-2に示す。調理くずが最も多く85.2%であった。

表5-2 調査結果（厨芥類）

分類項目	排出量(g)	原単位(g/人日)	割合
調理くず	82,170	80.2	85.2%
未利用食品	8,840	8.6	9.2%
食べ残し	5,360	5.2	5.6%
その他	0	0.0	0.0%
合計	96,370	94.0	100.0%

(2) 世帯人数ごとの厨芥類組成

①排出原単位

世帯人数ごとの厨芥類組成排出原単位を表5-3及び図5-1に示す。4人以上世帯の排出原単位が最も多く107.1g/人日であった。

表5-3 世帯人数ごとの厨芥類組成排出原単位

単位：g/人日

	1人	2人	3人	4人以上	平均
調理くず	49.9	77.1	78.7	100.4	80.2
未利用食品	11.5	9.7	10.1	4.6	8.6
食べ残し	0.7	9.7	6.5	2.1	5.2
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	62.1	96.5	95.3	107.1	94.0

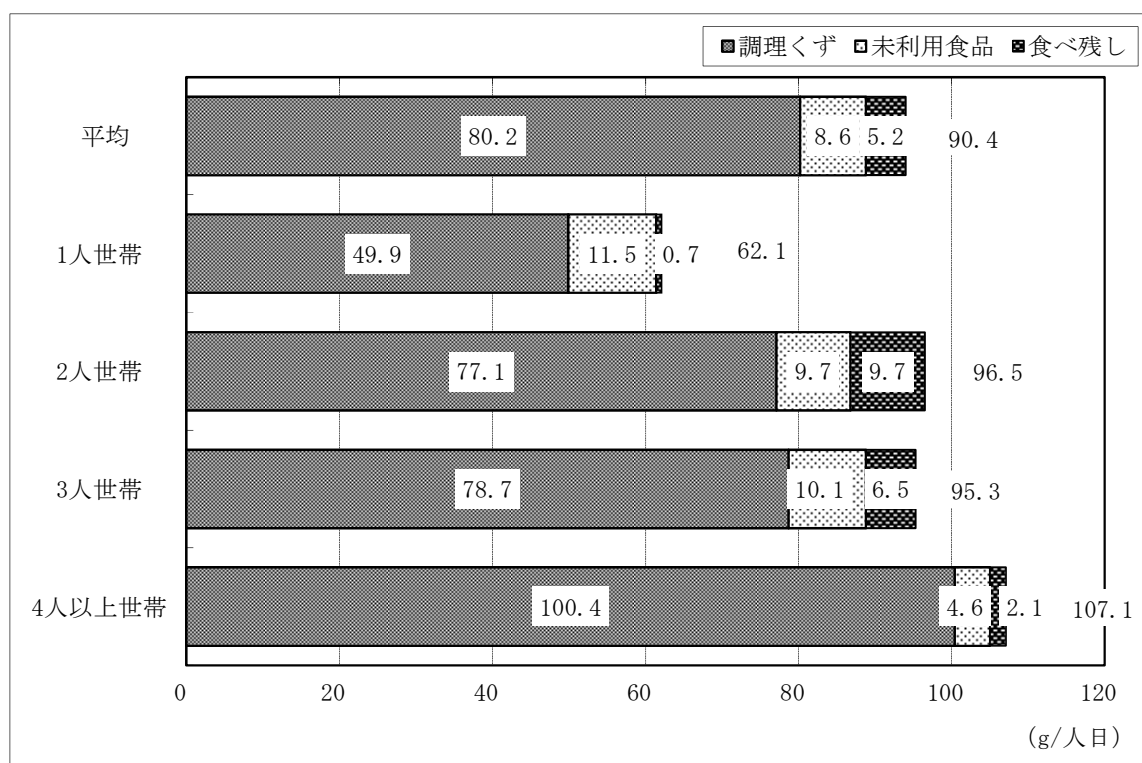


図5-1 世帯人数ごとの排出原単位

②組成割合

世帯人数ごとの組成割合を図5-2に示す。

世帯人数が増すごとに調理くずの割合が増した。1人世帯は他と比較して未利用食品の占める割合が、2人世帯では食べ残しの占める割合が大きかった。

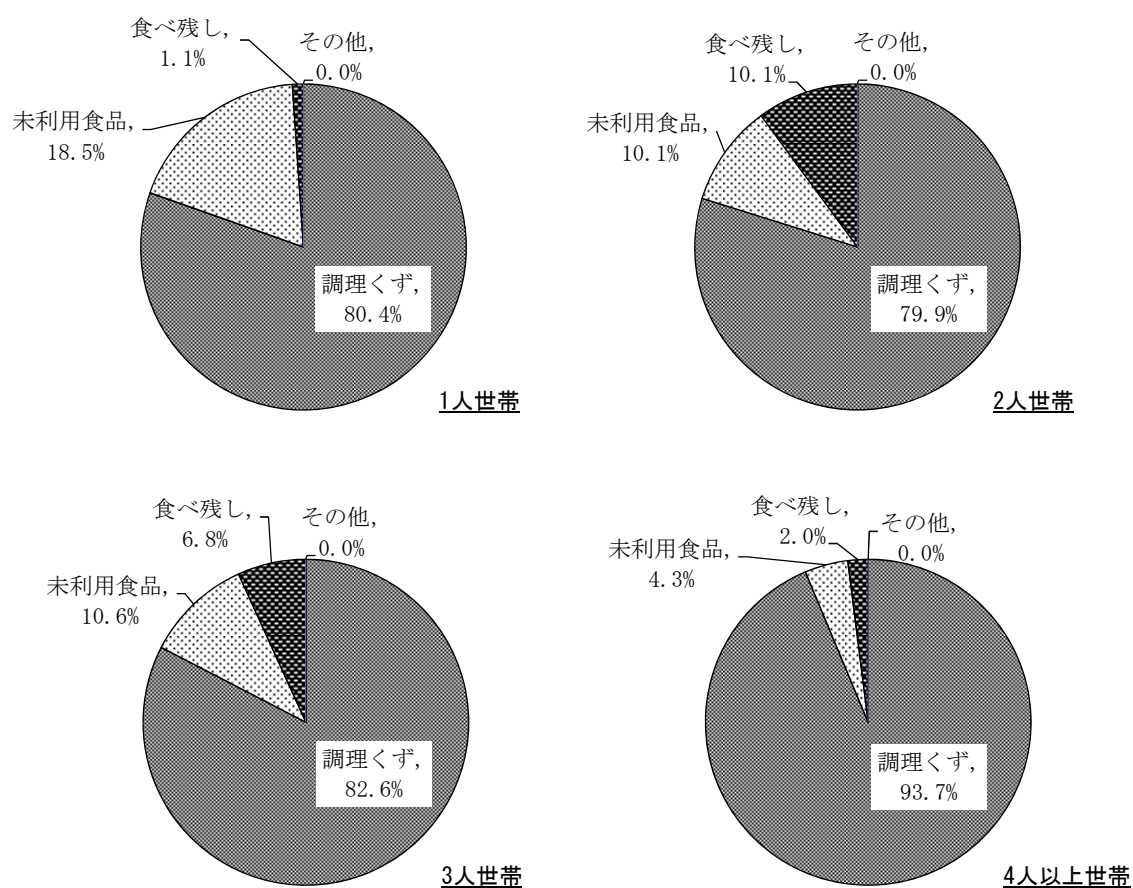


図5-2 世帯人数ごとの組成割合

(3) クラスターごとの厨芥類組成

①排出原単位

クラスターごとの排出原単位を表5-4及び図5-3に示す。なお、各クラスターの特徴は次頁に記した。

表5-4 クラスターごとの排出原単位

単位：g/人日					
	クラスター①	クラスター②	クラスター③	クラスター④	平均
調理くず	90.3	74.9	93.9	55.8	80.2
未利用食品	6.6	3.9	12.3	7.9	8.6
食べ残し	3.9	4.1	8.8	2.1	5.2
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	100.8	82.9	115.0	65.8	94.0

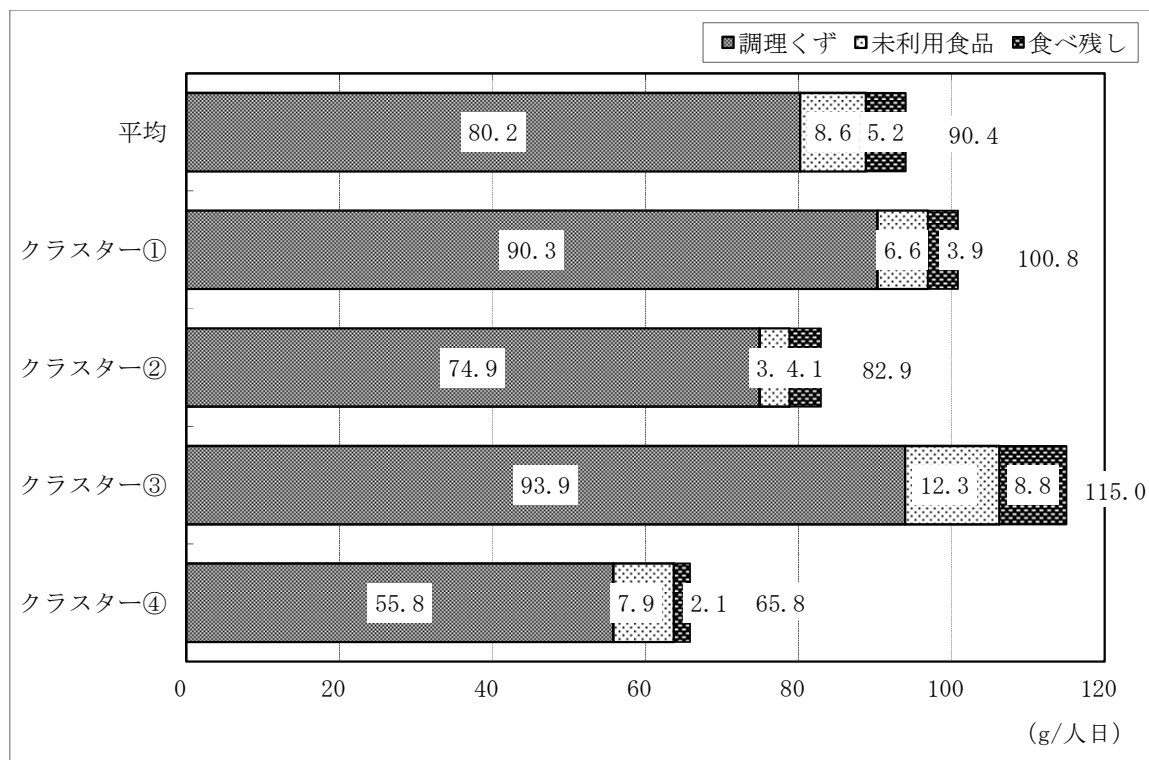


図5-3 クラスターごとの排出原単位

②組成割合

クラスターごとの組成割合を図5-4に示す。

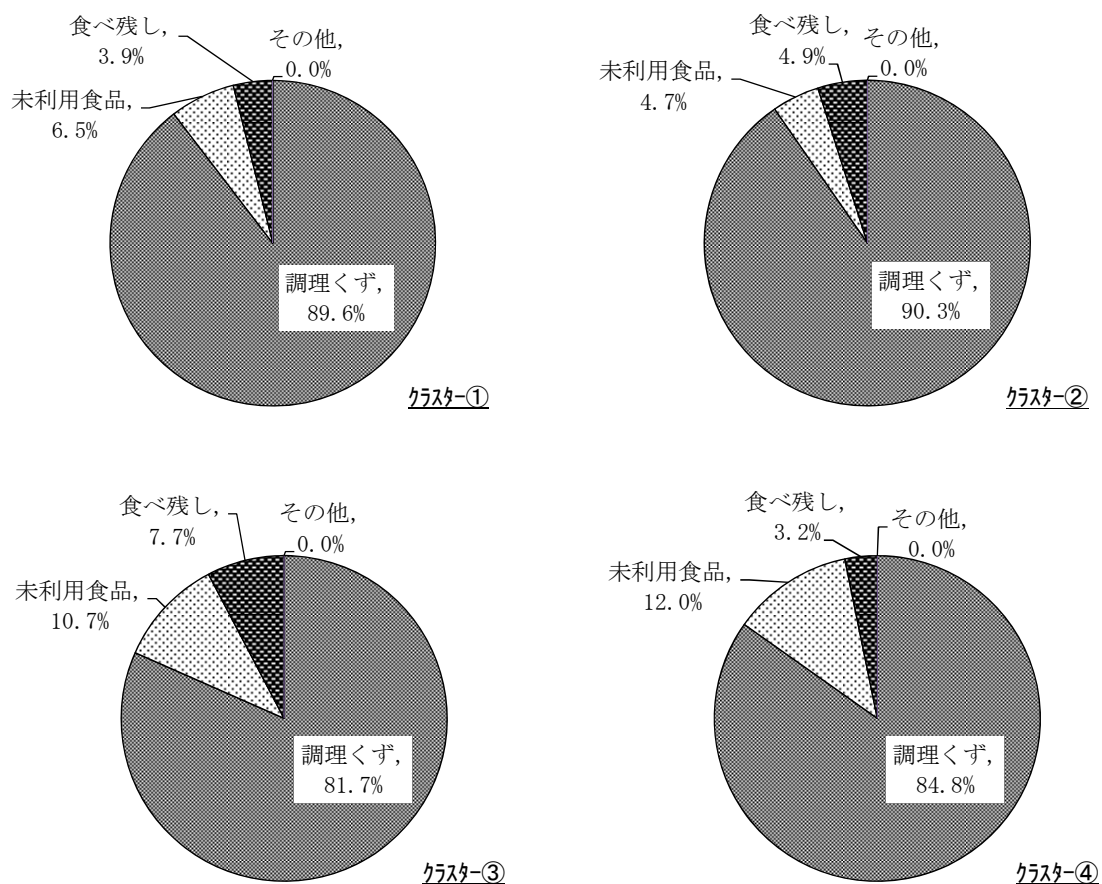


図5-4 クラスターごとの組成割合

各クラスターの特徴（平成25年度に東京二十三区清掃一部事務組合ごみ排出原単位等実態調査より）

クラスター① 2-5人世帯が多く、戸建、持ち家世帯が多い、23区の東部、西部に多く分布する。

クラスター② 単身、または5人の間借り世帯が多い。中心部に多く分布する。

クラスター③ 人口密度が高く、共同住宅、民間の借家世帯が多い。

クラスター④ 11階以上の超高層公営借家が多い。

第6章 小型家電、その他金属の解析

1. 調査結果

調査結果を表6-1に示す。なお、割合は可燃ごみ排出量もしくは不燃ごみ排出量に占めるその他金属、小型家電それぞれの割合を示す。

表6-1 調査結果

分類項目	可燃ごみ			不燃ごみ		
	排出量(g)	原単位(g/人日)	割合	排出量(g)	原単位(g/人日)	割合
その他金属(リサイクル可)	180	0.18	0.07%	11,810	2.34	11.42%
その他金属(リサイクル不可)	300	0.29	0.11%	1,760	0.35	1.71%
小型家電	570	0.56	0.21%	8,180	1.62	7.90%

2. 小型家電、その他金属の具体的品目

(1) 小型家電

可燃ごみ及び不燃ごみとして排出された小型家電一覧を表6-2及び図6-1に示す。

表6-2 小型家電一覧

回収	具体的品目	重量(kg)
可燃	FM/AM ラジオ&クロック	0.520
可燃	毛抜き	0.010
可燃	ヘアークリッパー充電器	0.050
不燃	ACアダプター	0.410
不燃	アイロン	0.635
不燃	アイロン	0.750
不燃	アダプター	0.170
不燃	イヤホン	0.050
不燃	置き時計(小)	0.060
不燃	コーヒーメーカー	0.930
不燃	小型クロック	0.080
不燃	充電器	0.465
不燃	充電器	1.065
不燃	スイッチコード	0.130
不燃	電気スタンド	0.690
不燃	電卓	0.050
不燃	電話器	0.600
不燃	電話子機	0.120
不燃	時計	0.070
不燃	ドライヤー	0.200
不燃	美顔器	0.060
不燃	フードプロセッサ	1.240
不燃	ヘアアイロン	0.260
不燃	ボイスレコーダー	0.040
不燃	マウス	0.050

※具体的品目ごとの重量の合計は、個別に測定したために調査結果の数値と合わないことがある。

(2) その他金属

可燃ごみ及び不燃ごみとして排出されたその他金属一覧を表6-3及び図6-2に示す。

表6-3 その他金属一覧

回収	具体的品目	重量(kg)	回収	具体的品目	重量(kg)
可燃	アイロン台	0.09	不燃	スロットのコイン	0.01
可燃	アルミホイル	0.19	不燃	石鹸台	0.06
可燃	金属の敷き台	0.13	不燃	厨房器具	0.07
可燃	スチールたわし	0.03	不燃	ちりとり	0.20
可燃	不明	0.16	不燃	爪切り	0.03
不燃	アイスポット	0.40	不燃	爪切り	0.02
不燃	アルミホイル	0.42	不燃	鉄板を取り出す取っ手	0.08
不燃	椅子のあし	2.09	不燃	鍋	0.39
不燃	犬のごはんの皿	0.15	不燃	鍋	0.67
不燃	色々な金属	0.08	不燃	鍋	0.31
不燃	園芸の棒	0.08	不燃	鍋	0.81
不燃	園芸の棒	0.01	不燃	バインダー金具	0.02
不燃	ガスコンロ	1.26	不燃	はさみ	0.01
不燃	ガスの油除けホイル	0.06	不燃	はさみ	0.06
不燃	カッターの刃	0.08	不燃	針金	0.01
不燃	カップ	0.07	不燃	針金	0.01
不燃	かみかざり	0.07	不燃	針金	0.01
不燃	カミソリ	0.01	不燃	針金を編むもの	0.29
不燃	カミソリ	0.01	不燃	ハンガー	0.38
不燃	カミソリ	0.01	不燃	ハンガー	0.42
不燃	カミソリ	0.02	不燃	ハンガー	0.10
不燃	キーホルダー	0.09	不燃	ハンガー	0.03
不燃	きり	0.01	不燃	ピン	0.01
不燃	釘、鍵	1.26	不燃	フライパン	0.23
不燃	口紅容器	0.05	不燃	フライパン	1.20
不燃	クリップ	0.02	不燃	フライパン	0.60
不燃	ごみ箱	0.40	不燃	フライパン	0.61
不燃	さおあげ	0.30	不燃	フライパン	0.84
不燃	皿(トレイ)	0.46	不燃	ベルトバックル	0.07
不燃	スタンド	0.22	不燃	包丁	0.12

※アルミホイルは合計とした。

※具体的品目ごとの重量の合計は、個別に測定したために調査結果の数値と合わないことがある。



図 6-2 その他金属一覧

排出件数では表 6-4 に示すように、不燃ごみ、可燃ごみとして排出されたアルミホイルがそれぞれ 19 件と多く、次いで鍋が 5 件、フライパンが 4 件であった。表に示す以外の品目はそれぞれ 1 件であった。

表 6-4 排出件数の多いその他金属

回収	具体的品目	件数
可燃	アルミホイル	19
不燃	アルミホイル	19
不燃	フライパン	5
不燃	鍋	4
不燃	カミソリ	4
不燃	ハンガー	4
不燃	針金	3
不燃	園芸の棒	2
不燃	爪切り	2
不燃	はさみ	2